

【6/26 は露天風呂の日】

標高 1,800 メートル 『乳白色の超高濃度硫黄泉』 大自然 “ど真ん中” 絶景が撮影できる「露天風呂」

群馬県：万座ホテルジュラク

ホテルやレストラン事業を展開する株式会社 聚楽（本社：東京都千代田区、取締役社長：加藤 治）は、1931年に初めて旅館事業へ参入し、1986年に万座ホテルジュラクを開業しました。当館は万座温泉郷の標高 1,800 メートルに位置しており、露天風呂からの景色は絶景で、雄大な自然が広がり、日常の喧騒から解放された癒しの時間が待っています。万座温泉といえば、日本でもトップクラスの「硫黄含有量」を誇る「高濃度硫黄泉」として有名であり、昔から呼吸器病や胃腸病、リウマチや皮膚病等に効果があると言われています。

取材をご希望の方は株式会社聚楽 広報担当：堀越
info@hotel-juraku.co.jp までお問い合わせください。



万座ホテルジュラクの「雲海の湯」：露天風呂

■ 一步外へ出れば広がる“非日常空間”

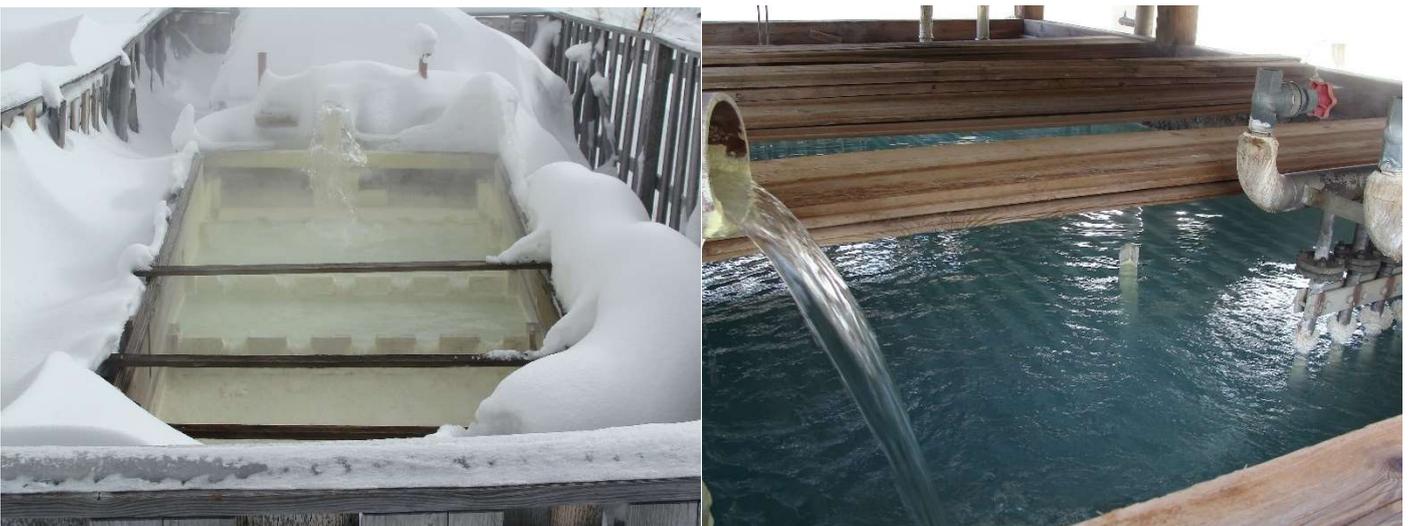
万座温泉は標高 1,800 メートルの場所にある、上信越高原国立公園内の温泉郷です。万座ホテルジュラクは森の中に位置しているため、周りに他の建物はなく、大自然に囲まれたホテルとなっています。そんな万座ホテルジュラクの中でも一番の絶景が、「雲海の湯」の露天風呂からの景色です。一步外へ出れば思わず声が出てしまうほどの雄大な自然が目の前に広がり、遮るものが何もない、電柱 1 つ見えない非日常空間に心が躍ります。また、万座温泉は日本屈指の「高濃度硫黄泉」。乳白色の温泉から漂う硫黄の香りが日頃の疲れを癒し、贅沢なひとときを演出します。



標高 1,800 メートルに位置する森の中のホテル「万座ホテルジュラク」

■自家占有源泉の贅沢かけ流し温泉

万座ホテルジュラクの源泉は、ホテルから 800 メートル先の奥万座にあります。人体に少々危険な硫化水素ガスの濃度を下げるため、一旦空気にさらす「ばっ気」という作業を行います。その後、温度が下がった源泉を昇温槽（しょうおんそう）へ溜め、70℃のお湯を通したパイプを介して温度を上げる「熱交換方式」により、温度を 55℃前後に保ちます。浴槽内の温度は、給湯量の調整のみで 41℃～43℃に保っています。この方法により、源泉の成分がそのままホテルまで届く仕組みになっています。※源泉周辺は硫化水素ガス濃度が非常に高く、お客様の立ち入りを固く禁じております。



写真：（左）空気にさらし硫化水素の濃度を下げる「ばっ気」設備
（右）「熱交換方式」で温めるのと同時に湯量を管理する「昇温槽（しょうおんそう）」設備

■意外と珍しい？露天風呂での写真撮影タイム

「雲海の湯」では、午前9：40～9：50までの毎日10分間、撮影タイムを設けています。是非この機会に、目の前に広がる大自然を写真に収めてみてはいかがでしょうか。また、X（旧 Twitter）、Instagram、Facebookに『#万座ジュラク』をつけて投稿していただくと、ジュラクオリジナル温泉の素1回分をプレゼントいたします。



写真：（左）「雲海の湯」：内風呂
（右）山肌からガスが噴き出る「空吹（からぶき）」



■万座ホテルジュラク

【住所】 〒377-1528 群馬県吾妻郡嬭恋村干俣万座温泉
【TEL】 0279-97-3535（9:00～20:00）
【URL】 <https://www.hotel-juraku.co.jp/manza/>

■会社概要

株式会社 聚楽（じゅらく）

【設立】 1924（大正13）年3月10日
【資本金】 1億円
【代表】 取締役社長 加藤 治
【住所】 東京都千代田区神田駿河台3丁目4番地 龍名館本店ビル9階南
【従業員】 正社員 570名／パートタイマー450名（2023年4月時点）
【事業内容】 都市ホテル・リゾートホテル・各種レストラン
【URL】 <https://juraku.com/>

<本件に関する報道関係からのお問い合わせ先>

株式会社 聚楽（じゅらく）

広報担当：堀越 info@hotel-juraku.co.jp